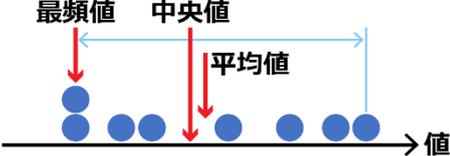
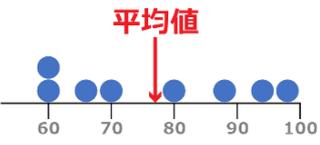


特徴(とくちょう)を表す代表値

平均値・中央値・最頻値(さいひんち)

	<p>データにはたくさんの数字がある。</p> <p>そのデータには、どんな特徴があるかっていうのをとらえる方法があるんだ。</p>																				
<ul style="list-style-type: none"> ● 代表値 … たくさんの数字(データ)が集まっているグループでそのグループをよく表す1つの数のこと ● データ全体の傾向(けいこう)をとらえる 	<p>それが…代表値。</p> <p>平均値と思ったんじゃないか？</p> <p>平均値だけでは分からないこともあるんだな！</p> <p>代表値には、この3種類がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平均値 ・中央値 ・最頻値(さいひんち) 																				
<table border="1" data-bbox="236 1523 459 1930"> <thead> <tr> <th colspan="2">テストの点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A</td><td>98</td></tr> <tr><td>B</td><td>70</td></tr> <tr><td>C</td><td>94</td></tr> <tr><td>D</td><td>80</td></tr> <tr><td>E</td><td>60</td></tr> <tr><td>F</td><td>88</td></tr> <tr><td>G</td><td>66</td></tr> <tr><td>H</td><td>60</td></tr> <tr><td>合計</td><td>616</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="470 1556 774 1680"> 平均値 = データの値の合計 ÷ データの個数 (平均値) = $616 \div 8 = 77$ </p> 	テストの点数		A	98	B	70	C	94	D	80	E	60	F	88	G	66	H	60	合計	616	<p>まず、平均値。</p> <p>これは、全部のデータを足して、データの個数で割ったものだ。</p> <p>テストの点数がこんなだったら、平均点は77点になる。</p> <p>つまり、データ全体を「ならした大きさ」を示してくれるんだな。</p>
テストの点数																					
A	98																				
B	70																				
C	94																				
D	80																				
E	60																				
F	88																				
G	66																				
H	60																				
合計	616																				

テストの点数	
A	98
C	94
F	88
D	80
B	70
G	66
E	60
H	60
合計	616

値を小さい順に並べて真ん中にくる値

データの数が奇数のときは、真ん中の値

1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---

中央値は75

データの数が偶数のときは、中央の2つの値の合計を2で割る

1	2	3	4	5	6	7	8
---	---	---	---	---	---	---	---

(60,60,66,70,80,88,94,98)
 $(70+80) \div 2 = 75$

次の中央値は、データのど真ん中の数値のこと。

順番に並べて、ちょうど真ん中にある数値。

データの「真ん中」を教えてくださいよ。

データの個数が偶数(ぐうすう)だったら、中央の2つ値の真ん中になるよ。

この中央値 75 点と平均値 77 点は同じではないんだな。

テストの点数	
A	98
C	94
F	88
D	80
B	70
G	66
E	60
H	60
合計	616

最頻値
最も多く出てくる値

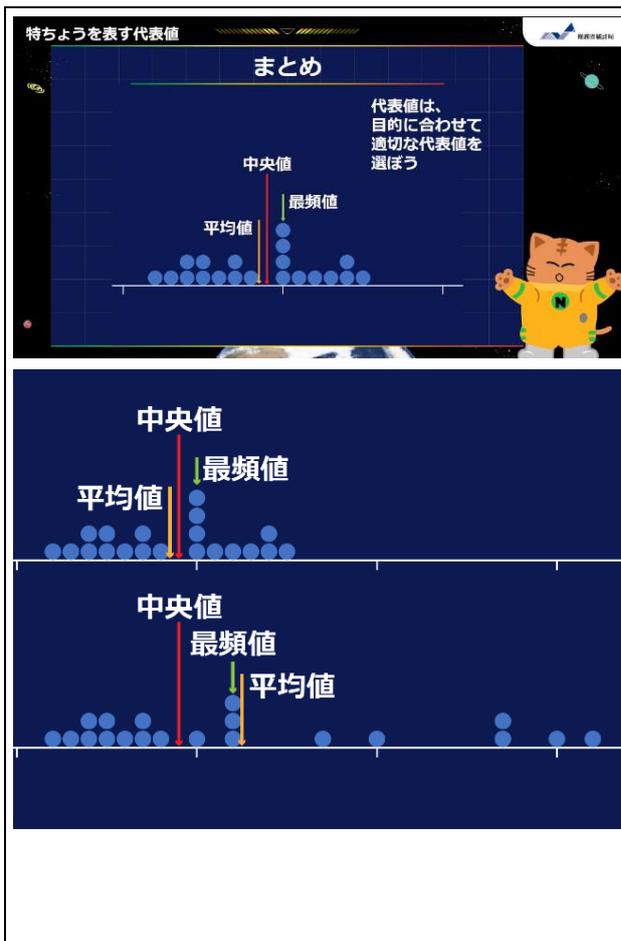
点数	60	66	70	80	88	94	98
人数	2	1	1	1	1	1	1

最頻値

3つ目の最頻値は、いちばん多く出てくる数値のこと。

さっきのテストでは、60 点をとった人がいちばん多いので、60 点が最頻値だね。

データの中で「もっともポピュラー」な値ってこと！



どの代表値を使うかは、データの特徴や目的に合わせて選ぶのが大事。

3つの代表値はどれもほぼ中心だし、どれもいいじゃんと思ったそのキミ！

どこが違うかっていうと、外れ値の影響(えいきょう)をどのくらい受けるかなんだな。

平均値はうんとはなれた数値があると、データの中心が分かりにくくなるから注意が必要だ！

これらの代表値を使って、もっとデータを深くほり下げていこう！